

# 旭陵関西

発行人  
旭陵同窓会関西支部長  
**阿部 紀一郎**  
印刷所 富士精版印刷(株)  
TEL. 06-6394-1181

## アフターコロナ時代に備えて



旭陵同窓会関西支部長  
**阿部 紀一郎**  
(54期)

会員の皆様にはコロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。お仕事や健康に影響の及んでおられる方にはお見舞い申し上げます。また感染対策や治療に格闘されている皆様、おつかれさまです。感謝と敬意の念でいっぱいです。

コロナは「禍」ですが、この機会に活かせる何かを得たいものだと強く思います。

この会報がお手元に届く頃には、ワクチン接種率が上がり集団免疫が機能し始め重症者数の鎮静化に見通しが立ち、オリンピック・パラリンピック開催の具体的な日程詳細が公表されている…など期待を込めて推察いたします。

## 元気に乗り越えよう



旭陵同窓会会長  
**木下 毅**  
(37期)

今、世界は新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の蔓延で大変な状況である。日本でも感染が広がり緊急事態宣言が何回もなされ、会議や催事はほとんど中止やweb開催となっている。下関のコロナ感染患

者は一時落ち着いていたが、最近増加しクラスターも複数発生した。昨年は同窓会、総会、支部総会ともすべて中止となり活動停止状態になっている。今年本部総会も中止することにした。役員改選の年だが、総会が開催できないので現役員でもう一期続けることが6月2日の常任理事会で決まった。次の総会で承認されるまでは暫定的な会長ということになります。100周年行事が終わっていたので安堵しているが、昨年、今年に100周年を迎える高校はまだ行事を行っていない。

ワクチン接種も始まっており、下関市では行政と下関市医師会との連携がとてうまくいっておりワクチン接種は順調に行われている。7月には65歳以下の接種も始まると思われる。新型コロナウイルス感染症が収まるように願っている。山口県では県立高校の生徒・教職員全員のコロナウイルス検査が行われ全員陰性であった。今年も学校の卒業式・入学式も簡素化され、短時間に行われた。もちろん同窓会会長の祝辞もなくほっとしていることもあるがさみしさもある、6月の文化祭では、JR西日本

副会長・来島達夫さんに講演をお願いしweb開催となった。

海峽ウオークや先帝祭など市の自粛は続いているが、1日も早く新型コロナウイルス感染症が収まり、普通の生活ができる状態になるのを願っている。

コロナ感染症で母子手帳の申請が減っている。人口減少は更に拡大しそうである。都市部に出ている下関の人々が下関の活性化に力を注いでくれるとありがたい。関西在住の卒業生にも大いに期待をしている。

9月の関西支部総会までに、世の中が落ち着いている事を願っている。

最近では、リモートワーク、WEB講習、遠隔診療などコロナ禍が機会になっていろいろな分野の発展の芽を膨らませています。ビジョンハッカー(世界の未来をデザインする人間力溢れる若者)の活動も報じられています。「禍三年」新しい時代が確実に始まります。10年後、現

さて、本校に着任して一年あまりが経過しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度は関西の地にて皆様とお会いすることができませんでした。寂しく思っておりますが、現下の状況に鑑み、御容赦いただければと存じます。また、本年になっての関西圏における感染拡大の状況にさぞ御心痛なされておられることと拝察し、改めましてお見舞いを申し上げます。



山口県立  
下関西高等学校校長  
**山田 哲也**

## どうぶつちゃんー西高近況報告

下の禍中の世界はどのように見えるのでしょうか。

そして、この秋がアフターコロナ(AC)時代の開幕のタイミングとなり、二年ぶりに支部総会で皆様と元気で会いできることを祈念しております。皆様ご自愛ください。

さて、本校におきましても、昨年度は「コロナ」に振り回された一年でした。学校の臨時休業は年度を跨いで継続し、五月二十五日によるや授業開始、日々の教育活動は感染防止に向けた取組を重ねながら進めてまいりました。とりわけ、九月の体育大会は実施内容の精選により何とか開催できたものの、六月の旭陵祭、そして三年生最後の部活動大会が軒並み中止になったことは、痛恨の極みと言わざるを得ません。

このような厳しい状況ではありましたが、学習面では生徒たちは頑張りを見せました。今春の大学入試の合格状況については、京都大学や東京大学をはじめ国公立大学の現役生の合格者数は昨年度より10名多い136名、合格率についても上昇し、近年の状況をさらに超える堅調な実績となりました。とりわけ、二期生となる探究科の卒業生については、昨年度に続き、よい結果を残してくれました。

変化の激しいこれからの社会で活躍できる有為な人材の育成に向けた教育活動の充実に取り組みでまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

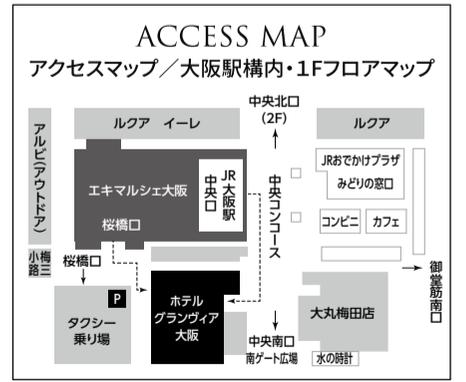
末筆となりましたが、旭陵同窓会関西支部のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

さて、本校に着任して一年あまりが経過しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度は関西の地にて皆様とお会いすることができませんでした。寂しく思っておりますが、現下の状況に鑑み、御容赦いただければと存じます。また、本年になっての関西圏における感染拡大の状況にさぞ御心痛なされておられることと拝察し、改めましてお見舞いを申し上げます。

## 高関 令和3年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

- 日時: 令和3年9月5日(日) 10:30~15:00
- 場所: ホテルグランヴィア大阪 20階 名庭の間  
〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目1番1号 (JR大阪駅中央口よりすぐ)  
TEL.06-6344-1235(代) FAX.06-6344-1130
- 来賓: 木下同窓会会長、本部役員、山田 哲也校長
- 会費: 8,000円(家族3,000円、85期以降2,000円)
- 式次第: 10:30~11:00 総会

会場はコロナウイルス感染症対策を講じております。  
ホテル会場は300名着席分のスペースをご用意しております。



体温計測、マスク着用いただき、  
軽装・ノーネクタイで  
ご出席下さい

11:10~12:30 特別講演 **寺川 奈津美氏**(78期)

◆演題◆『令和時代の気象予報とのつきあい方』

◆要旨◆ どのくらい異常気象が身近に迫っているものなのか、これだけは知っておいてほしい気象情報の見方などをお話できたらと思います。

寺川 奈津美氏 プロフィール  
山口県下関市出身。気象予報士・防災士。  
慶應義塾大学理工学部を卒業後、2008年NHK鳥取放送局でキャスターを務める。同年、気象予報士の資格を取得。2011年4月より5年間NHK総合「ニュース7」で気象情報を担当。2016年から2020年までフジテレビ「直撃LIVEグッディ!」に出演。現在は二人の子供を子育て中。著書「はれますように 未来はきっと変えられる」

12:30~ 懇親会



※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)  
※つり銭のいないようご準備下さい。  
※なお、同封葉書またはホームページで出欠の連絡を8月10日までにお願いします。(欠席の場合会場準備上必ず返信をお願いします。)  
※回答後も出欠の変更がある場合、事務局まで必ず連絡して下さい。  
詳しくは旭陵同窓会関西支部のホームページ(<http://www.kyokuryo-kansai.jp>)をご覧ください。

### コロナ禍の過ごし方

昨年より猛威を振るっています新型コロナウイルス感染症により、皆さまの生活も一変されたのではないのでしょうか。今号では、皆さまから「コロナ禍の過ごし方」を寄稿頂き、特集を組みました。寄稿いただきました皆さま、ありがとうございます。

関西支部総会では遅刻してしまい御迷惑をおかけしました。最近、パニックの影響で多面的に人としての行動が制約されてますが、貴支部のますますの発展を願っています。手束 猛先生(保健体育教諭)

コロナ禍以前は毎月のカレンダーの半分近くは、電車かバスに乗って外出の赤丸でしたが、今は毎日家でテレビばかり見えています。それも韓ドラが好きでビデオにとって1回5〜6時間を見てもあきず「うつ」になる事はありません。歩く事で健康には気をつけています。米田康江さん(30期)

お世話様になっております。私は永年とれた古い映画ばかり観ています。忘れっぽいので、何回みても楽しいのです。フレッド・アステア、ジン・ケリーのタップダンスはコロナ禍にすることを忘れさせてくれます。最近、孫娘に教えてもらったNETFLIXにも少し慣れてきました。五月に行く予定だった下関も秋に延期になりました。もう少しの辛抱だと思えます。皆様頑張ります！ 金関文字さん(30期)

あと何年生きられるか。残り少ない貴重な年月の中で人に会う機会が失われるのは本当に辛いこと。折角準備されたハイキングや日帰り旅行も医療従事者としては出席出来ず残

念無念！ エレベーター「閉じる」ボタンは無視つづけ 安野洋一さん(33期)

小生はひたすら「なんば」には出ない、食料品の買い出しも半径5km程度の内側をうろろする毎日でした。人生83年大変貴重な体験でしたがこんなこと二度と繰り返したくないです。因みにご近所様で82歳のご高齢の方がコロナで他界されました。西村勲さん(33期)

「揚げ雲雀世に蠢ける人の欲」50年前の句ですが。毎年、人の欲を見つけて来た「雲雀」もこの2年間ずっと新型コロナウイルスの感染状況を見ている今日この頃です。3度目の「緊急事態宣言」が発令されましたが、5月一杯で治まるのでしょうか？ 関西圏も大変な時期を迎えています。9月5日の関西支部OB会が開かれる事を楽しみにしている一人ですが？？ 頑張ってください。益村裕三さん(37期)

コロナ禍で増える晩酌 缶酎ハイ コロナ過もリモートできない 懐かしいトヨタはコロナの70年代 朋友二人お先にアバヨと天国へ (関西の同期5人組のうち2人が他界) 金子紘一郎さん(38期)

生活活動の自粛で行動が狭くなりました。南側に市有地がありその「草むしり」も自分の仕事として始めました。運動代りになり、近くの方々からもこの通りを歩くと気持ちが良いと言われマス励んでおります。原田敏男さん(39期)

S 38年春C 62 S L 夜行急行で上京

する迄の3年間日和山から毎日約30分練兵場経由で通学、朝は晋作の顔夕には背中を拝みつつ、幼少期には台座のみでいつの日か刀を腰にさげた陶像が設置されました。なぜ日和山か、小生の生まれたS 19年頃はまだ朝鮮、満洲方面への関釜連絡船の海上安全、天候が重要で晋作も見守った、目指すは遥か興安嶺、崑崙山脈、天下第一関扁額も興安丸で持ち帰ったのかも。今は亡き岡田耕治君に捧ぐ。古賀勇一さん(40期)

ボランティアガイドをしている奈良博も平城宮跡も昨年から活動休止。奈良博では再開に向けて各種の資料作り。私は仏像紹介の動画を作成しました。毎日1時間のウォークでは野の花のデータベースづくり。タンポポとボタン、キュウリグサとハナイバナ：似ているけど違う野の花たち。その同定にスマホカメラのアプリが役に立ちます。古庄達雄さん(41期)

コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。下関西高の教師であった大正生まれの先生方がつくられた大正会があり、今は大昭会になり現会員は十名です。年二回春・秋に懇親会を開き昔話に花を咲かせています。話題は勿論進学状況ですが、優秀な生徒達の現状も出て盛り上がり。九十を超えてもお元気な先生方にもまだまだ昔話がきけそうです。大場仁史先生(42期)

関西の同期6〜7名で、毎月町歩きを楽しんでいます。10時頃当該駅に集まり、昼食をはさんで4〜5時間歩き、入浴後王将で打ち上げです。(今は入浴は控えています)これがみんなの元気の源と思っています。コロナ禍も3密避けて同期ウォーク 伊藤隆一さん(43期)

八年前から宇部市の実家の寺院で

住職をやっております。例年は年間5回の法座をお勤めするのですが、昨年は3回を休座(中止)。実施する場合も、感染防止対策をおこない、食事は中止するなど必須となっています。先日母の一周忌を自坊でお勤めしたのですが、東京の子供の帰省はできず、ZOOMによって「参加」してもらいました。今後このような対応も必要となるかと、よい実験になりました。杉頭紹さん(43期)

コロナ禍でのプロ野球、昨季は開幕が大幅に遅れ6月19日(無観客)であった。今季は観客数を制限して3月26日開幕した。5月10日現在、ペナントレース、セリーグはタイガースが抜け出し、巨人が追うという展開。パリーグは混沌としている。我がベイスターズ(前身のホエールズは創立時、下関をホーム球場とした)は、主力の外国人選手の入国遅れもあり、序盤6連敗、10連敗とほとんど勝てないという状況が続く5月に入り、どうにか楽しむことが出来るようになった。今季タイガースの優勝はあるのか？ 三浦新監督のベイスターズはどこまで巻き返せるのか？ 旭陵関西ホエールズ(ベイスターズ)ファン連絡会事務局 永繁晶二さん(44期)

コロナ禍44期同期で3月28日日曜日まなび旅を行った。参加者は、西山、中村、竹内、中野(旧姓生駒)とその友人のおみの5名。阪急川西能勢口に集合、猪名川町の桜の名所いーなさくら通りで西山氏と合流し一庫ダムから日本一の里山黒川を巡る山桜と菊炭のまなび旅を行った。小雨模様でしたが、桜は満開で大変情緒のある旅となった。猪名川町のさくら通りは大変長い桜並木で、一庫ダムはダムに沿って立体的に桜が咲き、染井吉野を平面立体で楽しんだ。その後、エドヒガ

ンの咲き乱れる黒川の「桜の森」で山桜を愛でた。その途中の里山は今でも切り口に菊の模様特徴の菊炭を焼いておりその原木となる台場クヌギの林を見学した。菊炭は千利休の茶の湯で使われて以来茶の湯の炭として評価を高め現在も使われている貴重なものである。里山が保全されてこそ取れる炭で日本一の里山と呼ばれる所以である。一庫ダムでは予期せぬイベントに遭遇した。「不死鳥コンサート音楽と水の力」である。サブタイトルに「コロナ終息を願う奏でるトロンボーン」とあった。普段流していな

いダムの水を放流し、その上でトロンボーンを演奏していた。コロナ終息を願う素晴らしい音色がダムの壁に響いていた。撮影スタッフが数名いたので、帰ってTBSを見たら川西市出身で日本を代表するトロンボーン奏者、藤原功次郎さんの演奏であった。竹内正文さん(44期)

今まででさえ世間から白眼視されていた喫煙者はコロナ禍で喫煙ルームも喫煙コーナーも閉鎖し、街を歩く時はマスクを着用してタバコは吸えません。おまけにタバコは値上がり今や絶滅を待つばかりの希少種です。中村榮一さん(44期)

ゴルフのコンペ楽しみにしておりますが、コロナ禍の中なかなか大変ですが、是非開催していただきたく思っております。熊野裕治さん(45期)

ゆるりと余生をと思っていたのに。半ば、「もういいや」とも。いや、そうはいかぬ。禍なんぞ、最終くらいききれいでありたい。何だかだと思っているうちに、あの言葉を思い出した。覆う禍 吃つと立ち向かう 「天下第一関」 平弘志さん(46期)

昨年から大阪から下関に引越した。西高同期生や幼馴染は皆忙しく、またコロナでそう頻繁には遊んでくれない。正月に「ゴルフと筋トレをやるぞ」と決め、福岡迄範囲を広げた結果、お陰様で、月3回のゴルフが叶っています。ジョギング中、行き交う船や門司を眺めながら「関門海峡は、やっぱり日本一やわぁ」と、地元下関で、ようやくリズムを掴みつつある今日この頃です。下方常由さん(47期)



細心のコロナ対策のもと再開したピアノレッスンとフィットネスクラブのおかげで日々の生活のリズムを保っています。またユヴァル・ノア・ハラリ、オードリー・タン、逢宗一郎、三石巖、藤川徳美などの著書を読めたことは大きな成果でした。横田晴子さん(48期)

大学を退職後、国立大学に入学予定の留学生たちの事前教育(物理)をオンラインでやっています。文部科学省が「発展途上国」と位置づける国々の若者たち全員が英語で議論できることに驚き、この国に行く末を案じています。下田正さん(48期)

コロナで逆に時間たっぷり。昨半年ば頃から有料動画の作成、新規も増え忙しい授業準備、授業。ジムも運よく営業しており運動もできストレスのない日々です。自粛？ 何そ

れ? コロナにかかる暇もない。村永次郎さん(48期)

早いもので最初の緊急事態宣言から1年を過ぎましたが、こういう時期だからこそ時間の有効利用で心身ともに老化防止とリフレッシュを心がけています。令和2年4月以降、毎日1万歩以上のウォーキング(万歩計をもって歩いています)、毎月最低5冊の読書(単行本に限りません)、そして年間40回のゴルフ(月平均3回以上のゴルフ)を目標にして、なおかつ実践しています。天候の悪い日もありましたが、おかげさまで過去1年間はすべて達成しました。これからも続けていく覚悟です。中野光男さん(48期)

きよくげんのコロナ自粛生活が続く中、りょうこうな心身と関係をめぐらして、関西50同期は、グループLINEを形成し、楽しく情報交換と交流を行っています! 小田一彦さん(50期)

下関出身という事で、色んな方から「フグの美味しい所ですね」とよく言われたが、本人は本場のフグの味を知らない。福岡勤務時代に同僚と初めて「春帆楼」を利用し老舗の味と酒に酔いしれた事を思い出す、もう15年前の話になる。竹内正幸さん(50期)

「友人とZOOM飲み会」を経験しました(どうも飲みすぎる傾向があります)。ウォーキングと腕立てをはじめました。数日まえからは本棚の埃を払いはじめました。旭陵も「編集会議」はZOOMで行いました。「役員会」のZOOM開催も是非やってみみたいです。阿部紀一郎さん(54期)

巣ごもりの一年間概ね息災に過ごしております。読書・嘱託社員をしている第二の職

場で、勝手に図書委員をやっています。若い子から不要な本を集め、自由貸し出し。土日に持ち帰り自宅で読書。資格取得・頭の体操で受験したら受かりました。ITパスポート。YouTube学習って良いです。オケ老人・所属オケは結果的に2演奏会が中止となりました。合奏練習は飛沫感染リスクがあるので高齢者は注意しています。メトロノームをwifiイヤホンで聴きながら消音器を付けての自宅練習を試しています。GOTO...旅行は緊急事態にかかってキャンセル。食事は、太閤園の和食処でディナーをいただきました。のちに藤田観光はこの太閤園を売却となりました。

ハイレベルなハイキング・感染状況の悪化懸念の隙をついて、晩秋に奈良の薬師寺から大和郡山城辺りを先輩方と。緑の草むらで青い空と赤いワインと大吟醸、楽しい会話で過ごしました。皆さんも心身共に穏やかに過ごせますよう。黒岩松彦さん(54期)

外出自粛で大好きな食べ歩きや居酒屋巡りも出来ず、ストレス発散のかぐや姫の熱唱もままならない毎日唯一の楽しみである月いちゴルフの脱衣場で体重計に乗ってビックリ! 見事なコロナ太りになってしまいました。これはイカンと中断していたランニングを再開、海響マラソンの抽選に当たったら『海響マラソン還暦オヤジの挑戦』の記事を来年の紙面でどうぞお楽しみに。中谷幸一さん(56期)

最近電車の中でスマホではなく、本を読む人が以前より多いように感じます。自分もと昔読んだ本の思い出し読みをしています。古い本は図書館で借りて読んでいますが、返却期限が適度なプレッシャーとなり結構捗っています。大崎求さん(62期)

コロナ禍で深まった

茶源郷・和束愛

藤村 徹(48期)

天気がいいので新緑を撮りに和束に行きました。コロナ禍で人出の少ない所に出かけた事もあり、このところ訪問回数が増えています。京都府相楽郡和束町は私の写真撮影のお気に入りの場所です。新緑や紅葉が綺麗な時期には絶好の撮影スポットなのです。

宇治茶の最大の生産地で、茶源郷と言われています。その魅力は山肌を覆う茶園の美しさと素朴さです。代表的な茶園は原山といわれる地区の円形茶園と石寺地区です。円形茶園は山肌を丸く切り込んだ半すり鉢みたいな形状をしており、インスタ映えといったところでどうか。五月のゴールデンウィークの頃が最も新芽の緑が輝きます。茶園は収穫したり覆いを取ったりと、日々姿を変えます。ここはハイキングで行くのに絶好の場所です。石寺地区は京都府景観資産第一号に指定された和束の代表的な茶園の景観です。

目の前のカフェで抹茶ジェラートをいただきながら、見えるものすべて茶園という別世界です。お茶が好きの方には和束茶カフェというお店があり、茶葉を選んで自分で急須で入れて楽しめます。日本茶は、こんなに美味しかったのかと感動します。天空カフェと言って山



の上にもワイルドな木組みのカフェスペースがあり、お茶を飲みながら和束を眺望できます。秋は正法寺(しょうぼうじ)という古いお寺があり、紅葉の名所として知られています。多くのヤマモミジが植えられておりその美しさは私のお気に入りの紅葉です。自然の美しさは日々刻々変化しますので、シーズンには何度も撮影にいきます。毎年訪問者が増えている理由です。私が和束を気に入っている理由は、美しい緑と紅葉と、自由な空間という三つのキーワードで表現できます。絶好の写真素材が沢山あります。コロナ禍の2年は観光地を避けて人の少ないところを選んだ結果、さらに訪問回数が増えました。自然の生命力の美しさに撮影対象が広がったのです。苔庭の芽生えや、野草の開花などを撮影するのに、寝っ転がって撮っている人も人目を気にすることなく自由なのです。

実は、和束との出会いは不思議な縁を感じます。システムエンジニアとして多忙な年月を過ごし定年退職した私は、WEB制作の現在の会社に縁ありお世話になっていました。ここで2社目のお客様が宇治のお茶屋さんでした。このお客様から日本茶のおいしさを教わりました。その後さらに職を考えて、なんと茶源郷の公益法人に入ることも検討しました(断念しましたが)。結果WEBの仕事に腰を落着けた私は、仕事の必要性から写真に興味を持ち、仕事と実益を兼ね楽しんでいました。それが現在では写真が生きがいのようになっています。奈良・京都のお寺や自然を撮っています。コロナ禍で再び和束との縁が深まったというわけです。

写真撮影の視点が広がった分、まだまだ写真の興味は尽きません。これからは元気な間は続けていこうと思えます。皆さんもおいでませ、美しい和束へ。

終息の願いがこもる八重桜



田底 成智 (55期)

旭陵同窓会関西支部では、年次総会、ゴルフコンペ、ハイキング、新年会、カニカニツアーなど様々なイベントを行っています。しかし、残念なことですが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、ほとんどのイベントを中止しなければならぬ状況となっています。

その中でも、同窓会活動が若返りの秘訣だと考えている幹事長の私は、昨年の十一月の奈良ハイキングだけは、実施させていただきました。さて、今年、中村先輩(四四回卒)のご提案で、四月に茨木市内での観桜ハイキングを企画しました。ところが、四月に大阪府は、まん延防止策対象地域となりました。この状況下で、同窓会イベントを行うのは、非常識とのご批判を受けかねません。そこで、「桜を愛する数名の方が、そぞろ歩きをする」ことにしました。マスクをする、空気の流れがあるところにいる、手を消毒する、どんなちゃん騒ぎはしないといったルールを設定しました。

【集合】四月十一日十時阪急南茨木駅で、桜を愛する方々をお待ちしていただきました。五名の方が来てくださいました。楽しくなりそうです。

【お弁当】デイスカウントスパー「サンデー」でお弁当と飲み物を購入しました。「これで、店が儲かっているの?」と思うほど安く、助六寿司とサラダを合わせてもワンコインでした。

【文化財資料館】展示室が改装工事のため、ほぼ閉館でした。パンフレットだけは、もらいました。

【桜通り】今年、桜の開花が早く、ソメイヨシノは散っていました。た



だし、八重桜はいい感じでした。その写真を撮っている方々が、いたので、意外に賑わっていました。丸いモコモコとした八重桜を見ると、その中に、コロナ終息の願いがこもっているような気がして見入りました。

【水尾公園】桜通りでは、弁当を広げられそうもないので、水尾公園に向かいました。そこに、季節外れのサンタさんが待っていました。上村先輩(四八回卒)です。お菓子の差し入れです。会社のご都合で、参加できなかつたのですが、車で駆けつけていただきました。

当日は良い天気でした。子供たちが公園を走り回っているのを見ると、なごみますね。比較的高齢な私たちですから、公園の隅っこで、静かに弁当やお菓子を食べました。感染防止のために、ストローを使って飲みました。(写真)

【プラネタリウム】換気が施されて、誰もしゃべらない場所として、プラネタリウムは、良い条件と考えました。予想通り、お客さんも少なく快適でした。ただし、お弁当を食べた

